会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和4年度職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業（２）教職員の資質能力向上の推進②教職員研修プログラムの構築 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第3回ICT活用WG |
| 開催日時 | 令和4年10月14日（月）　17時30分～18時30分 |
| 場所 | アルスコンピュータ専門学校 |
| 出席者 | 事業責任者：高岡　信吾委　　　員：猪俣　昇、岩﨑　千鶴、長瀬　あゆみ、中田　明子岡村　慎一（OL）、合田　美子（OL）、瀬戸　直貴（OL）　　　　　　　　　　計8名 |
| 議題等 | 〇研修振り返り・10月6日の岡山および本日の再ため研修を終えて、皆様方からご意見を頂戴したいと思います。（猪俣）・やはり当校においても本日受講した先生方の意見でも事前研修の時間が長すぎるという感じに受けますがいかがでしょう（高岡）・動画を視聴する時間も長いのですが、これに加えて資料提出等も多いため教員の負担は大きいです。（岩﨑）・当校はこれから実施することになりますが、やはり事前課題の負担が大きいですね。現状の教員は、数的な不足も顕著に見られ、仕事が多く、あまり負担をかける研修は難しいです。（瀨戸）・これからオンラインでの研修があるいますが、私の担当するパートは、コミュニケーション部分の強化という観点からどうしてもグループワークが必要となります。この辺りの運営をどのようにするのかが課題です。（中田）・中田さんにやっていただいた、勇気づけコミュニケーションは、伴奏的な教育として参考になるし、ワークがあるので良いと思う。もう少し時間を取って、いろいろなパターンの学習ができると更によくなります。（岡村）・現在は、事後課題の評価についてあまり情報が提示されていないがその点はどうか？この手の研修の場合には、事後の評価や継続的な評価が重要だと考える。（合田）・事後の課題については、以前にも申し上げた通り、何かのアセスメントを提示するより、講師への相談やコミュニティを作り情報共有することが必世ではないか。（高岡）・これだけの研修ボリュームでどのような効果が得られ、いくらぐらいで研修を売るのかといって、販売のスキームにまで踏み込まないと継続性が担保できないかもしれない。（高岡）・みなさまご意見ありがとうございます。本日いただいた意見を参考に次回の沖縄までに、内容を改善していきたいと思います。（猪俣） |
| 配布資料 | ・ |

以上